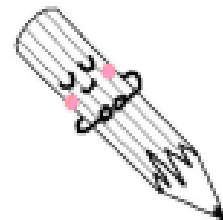




神様の手の中の

小さなえんぴつ

わたしは神の手の中にある小さな鉛筆のよう
なものです。神が考え、神が書くのです。
鉛筆は何もしません。鉛筆はただ使われるだ
けです。
(マザー・テレサ)



**あなたの目は胎児の私を見られ、あなたの書物にすべてが、書き
しるされました。私のために作られた日々が、しかも、その1日も
ないうちに。**
(詩篇139：16)

このところ急に涼しくなってきましたね。9月に入っても、暑い日が
続き、まだまだ夏の気分でしたが、季節は確実に移っていますね。トロ
ントから日本に帰ってきて3か月。さて今度は、バングラデシュに向け
て出発です。現時点では、ビザはまだとれていないのですが、主が最も
良い時に出発させてくださるでしょう。私自身は、カナダの時以上にど
ういう生活が待っているかわからないのですが、主は綿密に計画を立て
ていらっしゃることでしょう。

温かく迎えていただいてありがとうございました

7月から9月にかけて、去年に引き続き、教会訪問をさせていただきました。全部で11集会。このうち2教会は、去年もお伺いし、なつかしい方々にお会いできました。ずっと祈り、支えてきてくださったことを、あらためて実感し、感謝でした。ほとんどは、関東地区の教会ですが、8月中旬には、JECA西日本地区のファミリーキャンプに参加させていただき、近畿以外に



JECA西日本地区ファミリーキャンプでアピールする近藤恵宣教師

四国、中国、九州と幅広い範囲の教会の方々にお会いできました。これで、北海道から九州まで支援していただく方々がいらっしゃるようになります。送られる本人が頼りない分、神様は周りをしっかりとかためてくださるんですね。

神様との面談

9月28日で、予定していた教会訪問は終了しました。週1回行っている病院勤務もそろそろ終了。英会話学校も終了。後は荷物を詰めて、ビザのための書類がバングラデシュから来るのを待つばかり。こういうばかりと空いてしまったような時間の時が、サタンの狙い時。今日起きたとき、心の中にちくりとした不満がわいていました。こういう時は、誰かに話さなくっちゃと思うのですが、ひとりふたりの顔を思い浮かべてみて、「ああ、やっぱりみんな忙しいだろうな」と思ってしまいます。でも「そうか、神様に面談すればいいんだ」と思いつきました。朝食を食べ、テレビのニュースを見、今日の聖書箇所を繞んだ後、コーヒーを準備し、ソファにどっかりと座り、そして祈りました。その祈りは、朝起きた時の心と裏腹に、「神様、日本に帰ってきた後も、すべてのことをあなたが整えてくださったことを感謝します」と始まりました。

この祈りの後、神様は私にこうおっしゃいました。「日本に帰ってきてからのことを、全部思い返してごらん」。そこで、手帳を見ながら、感

田に着いた時から思い返してみました。成田から都心に向かう電車から見た日本の緑に感動したこと。トロントの春の緑もきれいでしたが、竹林などが混じる日本の緑は、独特でした。帰国2日目には、デパートでグリーンあんみつを食べました。そのおいしかったこと。帰国4日目には、9か月ぶりの外来診察をしました。ちょっとぎこちなかったのですが、とても良いトレーニングになりました。

教会訪問、キャンプの参加、医学会、英会話学校など、すべて綿密に計算してあったかのように、ちょうどよく配置されており、何よりもそれぞれ有意義な、幸いな時を持つことができました。それに加え、バングラデシュに行く前に会って、一緒に食事し、おしゃべりする方々をたくさん与えてくださいました。

神様は次に「では、心にひっかかっていることを言ってごらん」とおっしゃいました。でも、この時には、このひっかかっていたことは、すでに終わったことなのだという事に気づきました。神様は、ちゃんとそのことは、修復されていたのです。

最後に神様に、「バングラデシュに行く前になすべきことができるよう、導いてください」と祈り、この面談は終わりました。とても幸いな面談でした。

さてバングラデシュへ

まだビザを手に入れていないのですが、10月中には、バングラデシュに出発したいと思っています。バングラデシュでは、まずダッカで、少なくとも1年、ベンガル語の学びをする予定です。その後、北のDinajpurにある LA ME Hospitalという病院で、外科医として働く予定です。1期目のバングラデシュ滞在は3年を予定しています。

Prayer request

1. バングラデシュ入国のために。
 2. ベンガル語の学びのために。
 3. 気候、食事、言語、文化の異なる地で、元気に暮らしていただけますように。
 4. 派遣教会である自治区大前キリスト教会のために。
 5. 日本の母と姉の健康と救いのために。
-

LMI 世界宣教会近藤恵宜教師会計報告（08年7月～9月）

		7月	8月	9月
収入	近藤恵宜教師指定	424,062	336,201	416,100
	雑収入	0	752	0
	前月繰越金	961,444	1,007,676	1,150,419
	合 計	1,395,506	1,344,629	1,566,519
支出	近藤恵宜教師支援金	152,580	176,710	162,300
	年金・支える会経費	195,250	500	1,375
	LMI事務局費	40,000	17,000	25,000
	次月繰越金	1,007,676	1,150,419	1,377,844
	合 計	1,395,506	1,344,629	1,566,519

献金者お名前

〔教会〕足尾キリスト教会、泉キリスト教会、岩井キリスト教会、大洗キリスト教会、大泉聖書教会、大磯キリスト教会、かもい聖書教会、神栖めぐみキリスト教会、グレーストロント日本語教会、自治医大前キリスト教会、下館キリスト教会、湘南キリスト教会、湘南ライフタウンキリスト教会、菅生キリスト教会、都賀キリスト教会、橋本キリスト教会、蓮田キリスト教会、東村山キリスト教会、日立福音キリスト教会、本郷台キリスト教会、前橋キリスト教会、マルテン・ホルター教会、水戸下市キリスト教会、宮崎北聖書キリスト教会、武蔵台キリスト福音教会、八郷キリスト教会、谷田部キリスト教会、横浜緑園キリスト教会

〔個人〕赤堀美和子、阿部徳子、織田美津枝、池田美栄子、池田百合子、井上裕子、海老原崇則・葉子・京子、岡本英次・真奈美、香川聖恵、川崎豊、国井昭男、倉持芳、塩澤幹雄、芝田寛二・正子、鈴木喜子、添田裕子、田中泉、田中美智子、豊田光子、中井靖子、中村充・みちる、原雅榮・正子、日高融・幸恵、本田恵、三浦隆治、光畑京子、湯澤邦夫、四宮慈文・牧子、M&G・シェトラウス、M・アレクサンダー、都賀キリスト教会個人、JBCA西日本地区ファミリーキャンプ（席上献金）、岡野姉宅祈り会（席上献金）、自治医大前キリスト教会個人、匿名（敬称略）

等い献金をありがとうございました。

編集後記

自治医大前キリスト教会では、10月5日の礼拝後に恵宜教師の仕行会を開きました。兄弟姉妹一人一人から励ましの言葉を受けた恵宜教師は目を潤ませながら祈りの支援を訴えました。行っでらっしゃい——。私たちは支え、祈り続けます。（ひ）

あなたがたはこのおびただしい大軍のゆえに恐れてはならない。気落ちしてはならない。この戦いはあなたがたの戦いではなく、神の戦いであるから。
（Ⅱ歴代誌20：15）

連絡先：〒329-0403

栃木県下野市区大前3-7-1

近藤恵宜教師を支える会

（自治医大前キリスト教会内）

Tel&Fax: 0285-44-7564

★お申し込み

<http://homepage3.nifty.com/meg/>

E-mail: meg0_02007@yahoo.co.jp

郵便振替払込

口座番号: 00110-1 番号: 91993

加入者名: LMI世界宣教会

通信欄: 近藤恵宜教師指定献金



近藤恵宣教師を支える兄弟姉妹へ

バングラデシュに到着しました！

主の御名をほめたたえます。

近藤恵宣教師は昨日 14 日午後 1 時半過ぎ、成田空港からマレーシア航空便で出国し、15 日零時過ぎ（現地時間）、ダッカに到着、無事、入国できました。

成田では、駆けつけてくださった原田憲夫 LMI 世界宣教会理事長、LMJ 代表ヘーゲレ師の夫人エリサベツさん、今高一紀師、兵藤陽子宣教師、さらに久保田周太郎自治医大前キリスト教会牧師はじめ同教会員が近藤宣教師を囲んで賛美と祈りの時を持ち、祝福のうちに送り出しました。みなさまのお祈りに心から感謝いたします。

2008 年 10 月 15 日

近藤恵宣教師を支える会

※ニュース・レター第 6 号は、出国前に入稿、印刷したため、「バングラデシュ到着」のニュースが間に合いませんでした。この別紙にて報告させていただきます。

